

令和4年度県立病院事業評価委員会からの評価・提言内容

令和4年8月29日
県立病院事業評価委員会

委員から出された評価・提言の概要は、次のとおりです。

議 題「宮崎県病院事業経営計画2021」について

【評 価】

令和3年度病院事業については、新型コロナウイルス感染症患者に対する対応及び通常医療の提供について、適切な対応が行われていた。

また、令和4年1月に実施した県立宮崎病院の新病院移転においては、特に大きな混乱もなく、円滑に行われた。

今後も、各病院においては、全県レベルあるいは地域の中核病院として更なる努力をお願いしたい。

【提 言】

1 令和3年度県立病院事業の実施状況について

- 令和3年度決算では、宮崎病院の移転に係る一時的な費用、人件費、エネルギー価格高騰に伴う光熱費の増加などにより、経費が増加している。経費の見直しを進め、縮減に努めていただきたい。
- 資金収支がマイナスとなったことから、内部留保資金残高が減少している。患者数増加などの取組により、着実に利益を計上し、内部留保資金の確保に努めていただきたい。

2 各県立病院の令和3年度取組状況・成果と令和4年度の推進方針について

- 令和4年10月からの診療報酬改定においては、看護職員の処遇改善が盛り込まれていることから、適切な対応の検討をお願いしたい。
- 医師の働き方改革に係る取組について、医師事務作業補助者の活用に加え、薬剤師の活用が重要であることから、病棟薬剤師の活用や権限譲渡の検討など、一層のタスクシフトの推進をお願いしたい。
- 宮崎病院の経費節減に係る取組については、医薬品のリユースに加えて、一般社団法人日本ホスピタルアライアンス(NHA)を活用した共同購入等を検討していただきたい。

- 日南・串間医療圏における医療提供体制のあり方については、県立日南病院、日南市立中部病院、串間市民病院の公立病院がしっかりと連携して検討を進めていただきたい。併せて、民間病院との役割分担についても検討をお願いしたい。
- 医療法改正により創設された「宮崎県キャリア形成プログラム」については、県や宮崎大学と連携したプログラム適用医師の育成に加え、医師の県内定着（医師確保）の観点から、県立病院が受け皿としての機能を担う等の検討を進めていただきたい。

報告事項 1 県立宮崎病院改築事業について

- 特になし

報告事項 2 県立延岡病院心臓脳血管センターハイブリッド手術室整備について

- 特になし

報告事項 3 新型コロナウイルス感染症に係る県立病院の取組について

- 特になし